

# 令和元年度社会福祉法人橘風会事業報告

## I. 総括

1. 令和元年度の収支は、全体で前年度対比 102.4%、金額ベースで 1,730 万の増加となり、デイサービスでの収入増が法人全体の収入増に大きく寄与した結果となった。

ねむの丘では、特定処遇改善加算の創設により、前年度対比 101%、金額ベースで 400 万の増収になったが、例年以上に入退所が多く発生し、平成 30 年度は 21 人であった入退所が令和元年度は 34 人となった点や平均入院日数が 1 日平均 5 人から 5.1 人と微増となった事で、想定を下回る収入となった。

在宅部門においては、デイサービスで前年度対比 111%、金額ベースで 1,310 万の大幅増収となり、デイサービスセンターを二つに分けた事による増収効果が表れた。ただし、ケアプランセンターは昨年まで取得出来ていた加算が 5 か月間取得出来なかった事により前年度対比 89.9%と減収となり、ヘルパーステーションにおいても人材確保が依然として厳しく前年度対比 92.4%と減収となった。また、相対的に処遇改善の影響と人材確保に注力した結果、人件費が前年対比 108%と大幅に増えており、今後稼働率を向上させることで人件費率を下げる取り組みを行う必要がある。また、修繕費と消耗器具備品費の 2 項目で、一昨年から 800 万以上も支出が増えている点などは今後、経費削減が急務となっております。

2. LED交換工事並びに防犯カメラ設置工事を行い、省エネや防犯意識を高める取り組みを実施した。防犯カメラにおいては利用者様の状況確認に役立ちリスク軽減につながったのと同時に、近隣の施設で行方不明者が発生した際も公共機関からの問い合わせに対し、情報提供を行うなど導入効果を初年度より実証できた。
3. 来客用駐車場周辺の舗装・U字型側溝・正面雨どい設置工事を実施し、以前より問題視されていた駐車場内の陥没箇所の修復や雨水の滞留が改善された。

## II. 改正事項

1. 定款・規約・規程等の整備

- 1) 定款

- ① 変更点なし

- 2) 規約

- ① 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正
- ② 社会福祉法人橘風会 介護休業等に関する規則の一部改正
- ③ 社会福祉法人橘風会 育児休業等に関する規則の一部改正

- 3) 規程

- ① 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正
- ② 社会福祉法人橘風会 再雇用職員の就業に関する規程の一部改正
- ③ 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正
- ④ 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正
- ⑤ 社会福祉法人橘風会 指定短期入所生活介護事業運営規定の一部改正

- ⑥ 社会福祉法人橘風会 指定介護予防短期入所生活介護事業運営規定の一部改正
- ⑦ 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正
- ⑧ 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正
- ⑨ 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正
- ⑩ 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正
- ⑪ 社会福祉法人橘風会 指定訪問介護事業運営規程の一部改正
- ⑫ 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業（訪問型サービス）運営規定の一部改正

### Ⅲ. 組 織

#### 1. 役 員（令和2年 3月末日現在）

理事長	内 田 章 義				
理 事	鈴 木 基 晴（施設長）	都 丸 宣 彦	丸 橋 正 幸		
	木 村 榮 一	村 尾 隆 史			（就任順）
監 事	今 井 兼 則	都 丸 正 隆			（就任順）
評議員	小 林 百 合 子	萩 原 吉 行	高 橋 睦 男	田 村 な つ 江	
	諸 田 正 子	小 川 志 道	諸 田 米 一		（就任順）

#### 2. 職 員

(1) 橘風会	総数	1 4 6名	常 勤 7 2名（男 3 2名、女 4 0名）	非常勤 7 4名（男 9名、女 6 5名）
(2) 施設長		1名	常 勤 1名（男 1名）	
(3) 総務課		1 4名	常 勤 4名（男 3名、女 1名）	非常勤 1 0名（男 7名、女 3名）
	課長	1名	常 勤 1名（男 1名）	
	総務係	3名	常 勤 3名（男 2名、女 1名）	
	用務	2名	非常勤 2名（男 2名）	
	管理当直	3名	非常勤 3名（男 3名）	
	洗濯・清掃	5名	非常勤 5名（男 2名、女 3名）	
(4) 施設介護課		7 3名	常 勤 4 7名（男 2 1名、女 2 6名）	非常勤 2 6名（男 1名、女 2 5名）
	部長	1名	常 勤 1名（男 1名）	
	生活支援係	2名	常 勤 1名（管理栄養士 1名）	非常勤 1名（栄養士 1名）
	介護支援専門員	1名	常 勤 1名（男 1名）	

第一介護係	32名	常勤19名(男9名、女10名) 非常勤13名(男1名、女12名)
第二介護係	37名	常勤25名(男10名、女15名) 非常勤12名(男0名、女12名)
(5) 医務課	16名	常勤6名(看護師4名、准看護師2名) 非常勤10名(看護師0名、准看護師10名)
課長	1名	常勤1名(看護師1名)
医務係	12名	常勤3名(看護師1名、准看護師2名) 非常勤9名(看護師0名、准看護師9名)
機能訓練指導員	3名	常勤2名(看護師2名) 非常勤1名(看護師0名、准看護師1名)
(6) 在宅介護課	42名	常勤14名(男7名、女7名) 非常勤28名(男2名、女26名)
課長	1名	常勤1名(男1名)
通所介護事業所	26名	常勤5名(男3名、女2名) 非常勤21名(男1名、女20名)
運転手	1名	非常勤1名(男1名)
居宅介護支援事業所	5名	常勤4名(男1名、女3名) 非常勤1名(男0名、女1名)
訪問介護事業所	7名	常勤2名(サービス提供責任者) 非常勤5名(登録ヘルパー)
地域包括支援センター	3名	常勤3名(男2名、女1名)

#### IV. 会議

##### 1. 理事会

開催年月日	開催名	議題内容
令和元年 5月25日	第1回理事会	議案第1号 平成30年度社会福祉法人橘風会事業報告並びに資金収支決算(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録)の認定について [監査報告]
		議案第2号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程(第二デイサービスセンター虹の家)の一部改正について
		議案第3号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業(通所型サービス)運営規程(第二デイサービスセンター虹の家)の一部改正について
		議案第4号 社会福祉法人橘風会 評議員候補者の推薦について
		議案第5号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について
		議案第6号 社会福祉法人橘風会 評議員選任・解任委員会の開催について
令和元年 6月15日	第2回理事会	議案第7号 社会福祉法人橘風会 理事長の選任について
		議案第8号 社会福祉法人橘風会 業務執行理事の選任について

令和元年 8月24日	第3回理事会	議案第9号 社会福祉法人橘風会 育児休業等に関する規則の一部改正について 議案第10号 社会福祉法人橘風会 介護休業等に関する規則の一部改正について
令和元年 9月14日	第4回理事会	議案第11号 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について 議案第12号 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について 議案第13号 社会福祉法人橘風会 指定短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について 議案第14号 社会福祉法人橘風会 指定介護予防短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について 議案第15号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について 議案第16号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について 議案第17号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について 議案第18号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について 議案第19号 社会福祉法人橘風会 指定訪問介護事業運営規程の一部改正について 議案第20号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業（訪問型サービス）運営規程の一部改正について 議案第21号 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正について 議案第22号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について
令和2年 3月14日	第5回理事会	議案第23号 令和元年度社会福祉法人橘風会第一次資金収支補正予算について 議案第24号 令和2年度社会福祉法人橘風会事業計画並びに資金収支予算について 議案第25号 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正について 議案第26号 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正について 議案第27号 社会福祉法人橘風会 再雇用職員の就業に関する規程の一部改正について 議案第28号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について 議案第29号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について 議案第30号 社会福祉法人橘風会 指定訪問介護事業運営規程の一部改正について 議案第31号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について

## 2. 監査会

開催年月日	事業内容
令和元年 5月10日	令和元年度 監査会（平成30年度決算監事監査）
令和元年12月 5日	平成元年度 上半期会計監査会

## 3. 評議員会

開催年月日	開催名	議題内容
令和元年 6月15日	第1回 評議員会	<p>議案第 1号 平成30年度社会福祉法人橘風会事業報告並びに資金収支決算（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録）の認定について [監査報告]</p> <p>議案第 2号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について</p> <p>議案第 3号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について</p> <p>議案第 4号 社会福祉法人橘風会次期役員の選任について</p>
令和元年 9月28日	第2回 評議員会	<p>議案第 5号 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 6号 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 7号 社会福祉法人橘風会 指定短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 8号 社会福祉法人橘風会 指定介護予防短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 9号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第10号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について</p> <p>議案第11号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について</p> <p>議案第12号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について</p> <p>議案第13号 社会福祉法人橘風会 指定訪問介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第14号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業（訪問型サービス）運営規程の一部改正について</p> <p>議案第15号 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正について</p>
令和2年 3月28日	第3回 評議員会	<p>議案第16号 令和元年度社会福祉法人橘風会第一次資金収支補正予算について</p> <p>議案第17号 令和2年度社会福祉法人橘風会事業計画並びに資金収支予算について</p> <p>議案第18号 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正について</p> <p>議案第19号 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正について</p> <p>議案第20号 社会福祉法人橘風会 再雇用職員の就業に関する規程の一部改正について</p> <p>議案第21号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第22号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二デイサービスセンター虹の家）の一部改正について</p> <p>議案第23号 社会福祉法人橘風会 指定訪問介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第24号 社会福祉法人橘風会 役員退任に伴う、新役員の選任について</p>

#### 4. その他

開催年月日	事業内容
令和元年5月10日	苦情解決報告会
令和元年5月12日	第1回家族会総会 苗の植え付け、掃除等
令和元年5月29日	入所判定委員会の開催
令和元年8月24日	第24回ねむの丘祭り
令和元年9月16日	第2回家族会 「人生の最終段階における医療ケアを考える」～最期までその人らしく過ごす～について勉強会
令和元年11月21日	入所判定委員会の開催
令和元年12月8日	第3回家族会 餅つき、大掃除等
令和2年2月13日	入所判定委員会の開催

### V. 事業（目標）結果

#### 1. 総務部

##### <目標>

- キャリアパスを生かした人材確保・育成・定着を推進し、質の高いサービスを提供できる環境づくりを行っていきます。
- 個人情報の取扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守し、個人情報及び特定個人情報への不正アクセス、漏洩、滅失、き損などの防止並びに是正を図ります。
- 人口減少に伴う、労働人材の不足が深刻化しており、外国人人材の確保が急務になっております。EPAや留学生・技能実習生等、法人に適した雇用条件を模索し、外国人人材確保のスキームを確立します。

##### <結果>

- 人材育成及び処遇・職場環境の改善に積極的に取り組む介護事業者を「ぐんま介護人材育成宣言事業所」として群馬県が認定しておりますが、その認定を受けることができた。
- 法人共通研修において、個人情報漏洩に関する研修を実施し、情報漏洩に至るケースや至った場合のリスク等の学習を行い、職員の意識を高めることができた。
- 技能実習生に関して、他法人で活躍する実習生と面談を行い、選ばれる施設になる為の情報収集を行うとともに、複数の協同組合に視察に行き、技能実習生のスキルや日本語能力等、知り得ることができた。

##### 法人共通研修

平成31年4月3日	諸規程・社会人としてのマナーについて
令和元年 8月14日	身体拘束について
令和元年 9月11日	認知症について・ユマニチュードの技法を活用したケアについて
令和元年10月16日	感染症予防と対策
令和元年11月20日	スピーチロックについて
令和元年12月18日	危険予知訓練対策

## 2. 施設支援部

### ねむの丘基本方針

- 親孝行の視点で利用者の想いによりそうケアを提供します。
- 『ねむの丘ケア方針』に基づいた愛情あるケアを提供する。

### 各部署の目標

#### ① 生活相談員

##### <目標>

ご利用者が望む、医療・ケアについて、ご本人ご家族及びケアチームで話し合い、よりよい人生とつながる支援を提供します。

- アドバンスケアプランニングについて職員及びご家族が知ることができる。
- 利用者の状態を把握し医療及びケアについて検討する必要性に応じて多職種連携が図れる。

##### <結果>

- 職員には随時アドバンスケアプランニングに関する資料の配布及び施設内研修で人生のクライマックスを彩る支援の必要性を伝えた。ご家族には家族会で外部講師を招き「人生の最終段階における医療・ケアを考える」～最期までその人らしく過ごす～と題してお話を頂いた。
- 状態の変化に応じ、家族及び他職種で連携し、タイムリーなカンファレンスを開催することで、ご本人及びご家族が望むケア・医療へとつなげることができた。

#### ② 介護支援専門員

##### <目標>

常にご利用者の立場に立ち、何が今必要とされているかを一緒に考え、喜びを感じられるケアプランを作成します。

- 介護過程の理解を深め、様式の活用方法及びターミナルケアの考え方を統一する。
- 介護支援専門員間で話し合ったことを各フロアに周知し統一できる。

##### <結果>

- 介護過程に関して、アセスメント～モニタリングまでの様式に模範事例を作成し介護支援専門員間で勉強会を行い、統一を図った。
- 各フロアでアセスメント方法や様式の書き方の統一ができ、ご利用者本位のケアプラン作成を図った。

#### ③ 管理栄養士

##### <目標>

日々の摂食状況を把握し、安全に美味しく食事ができることで栄養状態の維持向上を図れるよう支援します。

- 栄養状態や咀嚼嚥下機能の変化に気付き、予防や改善ができる。
- 食事について改善に向けた課題が共有し、生活の楽しみとなるような食事の提供ができる。

##### <結果>

- 多職種連携し、嚥下機能や栄養状態に合わせて食事の形態・内容を検討した。
- 年中行事や季節を感じられるようなメニューを献立に取り入れ、日々の食事をより良いものにするために、給食業者と課題を共有し、連携を図った。

#### ④ 介護係

##### 第一係橋組

###### <目標>

ご利用者を好きになる事で個別の希望や願いを把握し、ご利用者が主体となるケアを支援します。

- ご利用者が何を望んでいるか把握することができる。
- ご家族と情報の共有ができる。

###### <結果>

- 介護過程の展開を学びなおすことでケアに根拠をもって実施することができ、ケアプランに意識を持つことができた。
- 家族との情報を共有する表を作成し共有する仕組みが作れた。職員間でも情報の共有ができ、もれなく伝える事ができた。

##### 第一係風組

###### <目標>

安心して過ごして頂くために、ご利用者が尊重される関わりを持ち信頼関係へとつなげ、余暇活動を通して楽しみのある生活を提供します。

- 利用者が喜びや楽しみを持ちながら、その人らしい生活を送る事ができる。
- 認知症ケア技法のユマニチュードの四つの原則を活用し利用者との信頼関係を作る。
- ご家族に対し適切な言葉遣いやご利用者の日頃の様子を提供し信頼を得る。

###### <結果>

- 季節行事やおやつレクの機会を増やしご利用者と一緒に実施することで笑顔の機会が増え生活に潤いを持っていただくことができた。
- 毎日の挨拶やご利用者に向き合う際の方法を組の中で周知し実施することで、ご利用者に不安や不信感の軽減ができるようになり、落ち着いて生活していただくことができた。
- ご家族へ日常の様子や気になることをその都度お伝えし、ご家族からの要望も職員間で共有し対応できるようになった。

##### 第二係花組

###### <目標>

一人ひとりの生活をより深く知り、ご利用者が望む生活を共有しチームケアを提供します。

- アセスメント表を更新することで、ご利用者のニーズを深く知ることができる。
- ご利用者の情報を基に願いや望みを、余暇活動として実施できる。

###### <結果>

- 一人ひとりの生活を理解でき、起床時間など見直し朝の個別ケアを提供できた。
- 本人及びご家族からの情報に基づいて希望に沿った外出行事や家族を交えた食事会を行うことができた。関わりを通して信頼関係の構築につながった。

##### 第二係月組

###### <目標>

ご利用者との触れ合いを通して真の想いや願いを導き出し、望む生活が実現できるよう支援します。

- ご利用者の笑顔を引き出すために一人ひとりの今までの生活を把握し余暇活動へつなげる。
- 目標を職員一人ひとりが常に意識でき、自らが行うべきことを把握し行動ができる。



<結果>

- 笑顔になる情報シートを作成し情報収集を図れたが余暇活動の実践には至らなかった。
- 組の会議で目標に対する取り組みを協議し各自の役割を認識し目標達成に向け行動することができた。

**第二係宙組**

<目標>

ご利用者主体の日々を送れるよう、自己選択・自己決定の場を増やし「その人らしい日々」が送れるよう支援します。

- 自己選択・自己決定の機会を設け、その人らしい一日が送れる。
- 喜びや楽しみ、希望を継続して感じられる日々が送れる。

<結果>

- ご利用者と関わる際に語尾に必ずクエスチョンマークで声掛けを意識し、ご利用者の自己選択・自己決定の場を増やすことができた。意思確認を尊重することで関わる機会を多く持ち表情の変化や日々の向上心へと繋がり、その人らしい一日を支援することができた。
- ご利用者の喜びや楽しみ、希望に繋がることを考え支援した反応や変化を記録に残し笑顔になる関わりを継続することで、ご利用者主体のその人らしい日々を提供することができた。

**第二係星組**

<目標>

ご利用者が日々楽しく過ごして頂くために、ご本人のことをより深く知ったうえで願いや希望に沿った支援を提供します。

- チームメンバー1人ひとりがご利用者の生活歴・現在の状態を知ることの大切さを認識し意識付けができ、ご利用者が必要としているケアを見出すことができる。
- 日々のコミュニケーションの中から、ご利用者の思い・願いを引き出して実現する。

<結果>

- 気付きや会話の内容を記録に残すことで情報共有が行え、ご利用者個々に応じたケアの検討や継続的な改善と評価を行うことができた。
- 日々のコミュニケーションの中から、ご利用者の望んでいることや想いを汲み上げてケア内容やイベント企画に反映をすることができた。

**第二係楓組**

<目標>

ご利用者が笑顔で過ごせるように「喜び・希望・楽しみ」の情報をケアの根拠とした支援を提供します。

- ご利用者の生活の中での「喜び・希望・楽しみ」を根拠としてケアにつなげることでご利用者が笑顔で過ごせる。
- 各ご利用者が家に行きたい、帰りたいとの希望が感じられるので全ご利用者が1度は家に帰ることができる。
- 業務の見直し、ご利用者とゆっくりとコミュニケーションができる時間が持てるようになる。

<結果>

- 各ご利用者の「心豊かな情報シート」を作成し、その情報をケアの根拠として関わることができ日々の関わりの中で会話に活かし、またご利用者の生活のペースを把握してそ

こに合わせてケアをすることができた。ケアの根拠としてご利用者に合わせて関わる事でご利用者の笑顔に繋がったと思う。

- ご利用者が家に帰る事ができるようにご家族と協力し実際に家や思い入れのある場所へ行くことができた。ご利用者の喜び・希望・楽しみへつなげることができた。
- 随時、業務などを話し合い見直すことができた。その時々々のケアに追われ、ゆっくりとコミュニケーションをとることには課題が残った。

#### 第二係桜組

##### <目標>

個々のご利用者のことを深く知ることで個別の願いを叶え支援を提供します。

- 利用者の生活や想いを理解し笑顔で生活ができる。
- 利用者主体になった行事を計画的に行える。

##### <結果>

- 笑顔が見られた時の事柄を心豊かなコミュニケーションシートや 24 時間シートに記録し、日常的に笑顔を引き出す関りを行った。
- 個別の利用者の願いを確認し掲示することで多くの方の願いを叶えることができた。

#### ⑤ 短期入所生活介護

##### <目標>

ご利用者が安全に生活して頂くために、サービス計画書の作成及び更新を行い、職員間で周知し統一したケアを提供します。

- 利用者が喜びや楽しみを持ちながらその人らしい生活を送ることができる。
- ユマニチュードの4つの原則を活用し利用者との信頼関係を作る。
- 家族からの信頼を得られる。

##### <結果>

- 喜びや楽しみについての記録は不十分であった。日常の様子を記録する必要性に課題が残った。
- 研修でユマニチュードについて伝えたが、誰もが実践できるまでには至っていない。認知症ケアについて業務中に指導を行っている。
- 送迎時に、家族へ情報を提供し信頼関係の構築を図った。「安心できる」との声も頂くことができた。

### 3. 医務課

#### 基本方針

- 本人・家族の代弁者となり自己決定の支援をします。

#### ⑥ 医務係

##### <目標>

ご利用者が希望する医療を確認し最期まで安心して過ごせるように健康管理を行います。

- 利用者の体調管理ができ入院が減らせる。
- ケース会議で家族にねむの丘の医療の希望を確認する。

##### <結果>

- 日々全体をラウンドする体制に変更し利用者を把握する体制を整えた。また、処置・受診担当を設け看護業務の効率化を図った。
- 看取り支援については早期より多職種で話し合いを行うことを進め、施設で行える医療行為を見直した。早期から家族と話し合いを重ね、施設内で点滴を行える体制を整えたことで、「病院に入院させたくない。施設でできる医療をしたうえで自然な形で看取りた

い」など家族の希望に寄り添うことができた。

## ⑦ 機能訓練

<目標>

ご利用者の身体機能に合わせた機能訓練を行います。

- 利用者の身体機能を知る。
- 身体機能に合わせたリハビリを行う。

<結果>

- 利用者の身体機能の確認のため、ADL表を作成した。利用者の身体事項に合ったリハビリを実施した。
- 今後、ADL表の評価・修正を行い生活レベルに合わせた機能訓練を実施していく。

## ⑧ 各委員会

### リスクマネジメント委員会

<目標>

気づきの向上に努め事故を未然に回避しご利用者に安全な生活を提供します。

- 危険予知訓練動画を作成し、職員の気づきの感性を高める。
- 気づきの段階から対処を講じることで、起こり得る事故を未然に防ぐことができる。
- 事故分析ツールを活用し予防策を検討し実践することで、ケアの質の向上から事故を未然に回避することができる。

<結果>

- 動画に対し各組で話し合いを行い、気づきの感性を高めることで、ご利用者が安全に生活していただけるよう努めた。
- 組ごとにリスクの対応策を講じることで、リスクに対する意識付けができた。
- 事故分析ツールを活用し検証することで再発の防止につなげることができたが、記入方法や事故報告書の書き方等に課題が残った。

### 食事改善・食中毒委員会

<目標>

多職種連携により、ミールラウンドの必要性や方法を理解し実践することで、口から食べる楽しみ喜びの継続を支援します。

- 多職種連携により、いつまでも口から食べられるために支援ができる。
- 誤嚥性肺炎を防ぎ、栄養状態を維持向上できる。
- 食中毒と予防について知識を深める。

<結果>

- 安全に口から食べるためには、摂食嚥下能力を見定めて食事継続の有無を適切に判断することが必要だと来年度の課題となった。
- 歯科衛生士の指導により、口腔ケアの方法を理解し実践することで誤嚥性肺炎の予防へつなげた。
- 法人共通研修にて、食中毒と予防について知識を深めた。

### 資質向上委員会

<目標>

理念及び基本方針に基づいた活動を通して、ご利用者の想いに寄り添う質の高いサービスを提供します。

- 職員一人ひとりが基本方針を理解してご利用者をかけがえのない存在として親孝行の

視点で援助を思考し実施する。

- ケア方針研修を通して知識・技術の共有。

<結果>

- 基本方針に基づき各組で目標を定め、進捗状況を毎月確認し合うことで、相乗効果が得られた。年度末には各組の取り組みをまとめ「事例発表会」を開催し目標に対する取り組みを振り返り成果を共有することができた。
- ケア方針に沿った研修をすることで伝え手、受け手共に学ぶことができケアの質の向上につながった。

## 排泄委員会

<目標>

個々のご利用者に合わせた排泄ケアを多職種で連携し提供します。

- その人らしい排泄をサポートできる。
- その方に合った排泄物品を用いて排泄トラブルの軽減に努めます。

<結果>

- 「排泄支援計画書」を作成し個別の排泄機能訓練を実施した。新規入所時に排泄支援計画を作成し個別の支援を行った。
- 排泄物品に関しオムツメーカーのアドバイスを受け、通気性の良いオムツや個別の排尿ゲーターに基づいた支援を提供することで、皮膚トラブルの軽減とコストダウンすることができた。

## 感染対策委員会

<目標>

感染のメカニズムを周知し清潔な環境を整えることで、感染症の発生及び蔓延を防ぐケアを提供します。

- 平常時に清潔な環境を整える事ができる。
- 感染症について理解を深めることができる。

<結果>

- 各組で環境整備に努めた。各組で清掃チェック表を作成し清掃を行った。随時感染のリスクがある場所を相談し追加することで清潔な環境を整えた。
- 感染のメカニズムを資料にまとめ、ノロウィルス初期対応の演習を各ユニットで行い感染の知識及び初期対応について周知を図った。

## 身体拘束委員会

<目標>

身体拘束指針の理解を深め、ご利用者の尊厳が尊重されるケアを提供します。

- 身体拘束指針を活用し身体拘束につながるような行為や身体拘束による弊害について資料を作成し理解ができる。
- 身体拘束を理解するアンケートを活用し身体拘束に繋がらないように対応が図れる。
- 業務でのストレスなどから、身体拘束や虐待につながるような状態を予防する為に困難な状況を職員間で話しやすい環境を作れる。

<結果>

- 身体拘束に関するポスターを作成し、各ユニットに掲示することで身体拘束につながるような行為や弊害について周知することができた。
- 年2回アンケートを実施し身体拘束に繋がらないように意識づけを行うことが出来た。
- 業務でのストレスを感じるケア場面を募り話し合うことでケアの見直しを図りストレス

の軽減につなげた。

### 褥瘡委員会

#### <目標>

個別の褥瘡計画に基づき、多職種協働で褥瘡を予防するケアを提供します。

- 褥瘡リスクアセスメントを実施し褥瘡に関する計画に基づきケアができる。
- 褥瘡予防の為の知識や技術を理解して、また個々に合った適正な物品を使用することで褥瘡を未然に防ぐことができる。

#### <結果>

- 褥瘡対策に関するケア計画書を作成することで褥瘡の危険性を認識でき予防することができた。
- 研修で褥瘡予防に関する理解を深め、褥瘡予防物品を適切に使用することができた。

### 広報委員会

#### <目標>

法人利用者はもとより、福祉関係者及び学生等に対しても法人を知って頂けるよう広く広報活動を行います。

- ふれあい便り年4回の発行、ブログの更新を通し施設での生活の様子をお伝えする事で、ご家族との良好な関係を築くコミュニケーションのひとつになるよう活動します。

#### <結果>

- ふれあい便り年4回の発行し就職説明会等でもねむの丘の楽しい雰囲気を紹介できた。

## 入退所状況

### 【従来型】

	1日現在 在所者数	退所者数	退所理由	新規入所者数	新規 平均介護度	新規平均年齢	備考
4月	40人						
5月	40人	1人	看取り				
6月	39人	1人	死亡(病院)	1人	介護5	87歳	老健
7月	40人	2人	死亡(病院)×2	3人	介護4.6	81.3歳	在宅×2人 老健×1人
8月	40人	1人	死亡(病院)	1人	介護4	82歳	病院
9月	40人						
10月	40人						
11月	40人						
12月	40人	1人	看取り	1人	介護3	78歳	有料老人ホーム
1月	40人	2人	看取り×2	1人	介護4	71歳	老健
2月	39人			1人	介護4	86歳	在宅
3月	40人	2人	看取り×2	1人	介護4	80歳	在宅
合計		10人	<u>看取り6人</u> 死亡(病院)×4人	9人	介護4	80.7歳	在宅×4人 老健×3人 有料×1人 病院×1人

※ 退所者：平成27年11名(看取り0名)、平成28年7名(看取り5名)

平成29年9名(看取り5名)、平成30年6名(看取り3名)、令和元年10名(看取り6名)。

【ユニット型】

	1日現在 在所要者数	退所者数	退所理由	新規入所者数	新規 平均介護度	新規平均年齢	備考
4月	59人			2人	介護 3.5	90.5歳	老健×2人
5月	60人	1人	看取り				
6月	59人	2人	看取り×1 長期入院×1	3人	介護 4	85歳	老健・在宅・病院 各1名
7月	60人	2人	看取り×2				
8月	58人	2人	看取り×2	2人	介護 4.5	83歳	在宅×1人 老健×1人
9月	58人	5人	看取り×2 死亡(病院)×2 長期入院×1	4人	介護 4.2	81.5歳	老健×3人 病院×1人
10月	58人	2人	看取り×2	3人	介護 4	83.3歳	在宅×2人 老健×1人
11月	58人	1人	看取り	2人	介護 4.5	87歳	老健×2人
12月	59人	4人	看取り×3 死亡(病院)×1	3人	介護 4.3	83.6歳	在宅×2人 老健×1人
1月	60人	1人	看取り	3人	介護 3.6	88.6歳	有料×2人 グループホーム×1人
2月	60人	1人	看取り	1人	介護 4	88歳	老健
3月	60人	3人	看取り×2 長期入院×1	1人	介護 4	92歳	在宅
合計		24人	看取り×18 死亡(病院)×3 長期入院×3	24人	介護 3.8	86.2歳	老健×12人 在宅×7人 病院×2人 有料×2人 グループホーム×1人

※ 退所者：平成27年8名(看取り1名)、平成28年17名(看取り2名)

平成29年19名(看取り7名)、平成30年15名(看取り9名)令和元年24名(看取り18名)

※ 年々入退所者数が増加している。施設での看取り比率も増加し7割となっている。

※ 待機者が減少傾向にあり特に介護4～5の待機者が減少し加算要件を確認しながら介護3の入所が増加している。

○ 入所者の状況

【従来型】

要介護度	性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均介護度	男	4.4	4.4	4.4	4.5	4.4	4.6	4.6	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	4.5
	女	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
平均介護度		4.3	4.4	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	<b>4.4</b>

※ 平均介護度：平成 29 年度介護 4、平成 30 年度介護 4.2、令和元年度 4.4 と重度化している。

【ユニット】

要介護度	性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均介護度	男	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
	女	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9
平均介護度		3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	<b>3.9</b>

※ 平均介護度：平成 29 年度介護 4、平成 30 年度介護 4.1、令和元年 3.9 と軽度化したことは入退所の増加及び介護度の改善によるもの。

○ 入院者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	一日平均
既存	17日	127日	152日	82日	65日	48日	65日	32日	46日	79日	33日	16日	762日	2人
エント	1日	55日	73日	109日	165日	146日	66日	90日	126日	126日	93日	81日	1131日	3人
合計	18日	182日	225日	191日	230日	194日	131日	122日	172日	205日	126日	97日	1893日	<b>5.1人</b>
一日平均	0.6人	5.8人	7.5人	6.1人	7.4人	6.4人	4.2人	4.0人	5.5人	6.6人	4.3人	3.1人	入院率 既存：5.2% エント：5.1%	

※ 平成 30 年度平均一日平均入院者 5 人から 5.1 人と微増した。



○ 稼働状況(ショートを含めた稼働率)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
既存	97.6%	96.6%	94.8%	94.8%	95.5%	97.1%	94.4%	97.26	96.2%	94.7%	98.2%	96.0%	96.1%
ユニット	99.0%	98.0%	97.1%	97.4%	94.2%	93.9%	98.2%	96.2%	94.8%	94.1%	97.0%	97.3%	96.5%
ショート	95.5%	112.9%	113.2%	108.5%	106.3%	109.3%	98.7%	100.5%	102.7%	100%	107.8%	95.8%	104.3%
合計	98%	100%	98.8%	98.5%	97.4%	98.6%	96.6%	97.6%	97.2%	95.6%	99.8%	96.7%	97.9%

※ 入院者の減少及び入退所が少なかったことにより平成30年稼働率95.7%から97.9%と増加した。

○ ショート利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	53人	55人	57人	62人	57人	54人	57人	51人	56人	56人	52人	51人	661人
延べ日数	573日	700日	679日	673日	659日	656日	612日	603日	637日	620日	625日	594日	7631日
一日平均	19.1人	22.5人	22.6人	21.7人	21.2人	21.8人	19.7人	20.1人	20.5人	20人	21.5人	19.1人	20.8人

※ 入院者の減少に伴い、空床利用が減少したことにより平成30年度一日平均19.8人から20.8人と増加した。

## 4. 在宅介護課

### (1) デイサービスセンター虹の家

#### <目標>

多くの高齢者やご家族、地域の皆様に、虹の家が楽しく元気になれる場所だと認識してもらい、親孝行の精神で心のこもったサービスを提供します。

第一デイにおいては、機能訓練やレクリエーションの充実、第二デイにおいては介護予防、認知症予防を充実させ、様々なニーズに応じていきます。

#### <結果>

機能訓練や個別の運動メニューの充実を図り、ご利用者の身体状態に合わせた実施が行えたことにより、身体機能の維持、重度化の予防につなげることが出来た。また季節の行事の実施、慰問やボランティアの受け入れを積極的に行い、ご利用者に喜んで頂けたとともに、地域貢献の向上に努めた。

利用者数について、延利用者数は月平均684名。令和2年度より大規模型（I）事業所（750人超900人以下）から通常規模型事業所（300人超750人以下）へ変更となる。

### (2) 第二デイサービスセンター虹の家

#### <目標>

利用者一人ひとりの意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適正な指定通所介護事業及び指定介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス）を実施し、心身機能の維持向上や社会的孤立感の解消ならびに家族の身体的、精神的負担の軽減を図り、利用者の在宅生活を支援します。

#### <結果>

・7月より常勤看護師が配属となり、機能訓練加算（I）を算定、個別のリハビリメニューの実施や体操、運動メニューを充実させ、ご利用者の身体機能の維持、向上を図り、在宅生活の継続及び安定した利用につなげることが出来た。

・毎月の行事や季節感を取り入れたレクリエーション等の実施により、ご利用者から喜びの声を頂き、ご家族や他事業所に評価を得ることが出来た。

デイサービスセンター虹の家 利用状況報告（令和元年度）

平成 30 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	25	27	26	26	26	26	156	26	26	24	24	24	26	150	306	26
要支援1	15	19	20	22	14	23	113	33	20	24	25	20	29	151	264	22
要支援2	173	181	177	194	215	184	1124	208	182	160	129	115	128	922	2,046	170
要支援延利用人員	188	200	197	216	229	207	1237	241	202	184	154	135	157	1,073	2,310	193
要支援一日平均	7.5	7.4	7.6	8.3	8.8	8.2	7.9	9.2	7.7	7.6	6.4	5.6	6.0	7.1	7.5	7.5
介護度1	360	398	375	408	410	413	2364	403	392	419	428	419	466	2,527	4,891	408
介護度2	226	256	235	244	226	209	1396	268	292	326	327	338	376	1,927	3,323	277
介護度3	158	183	180	210	228	195	1154	210	191	149	122	140	153	965	2,119	177
介護度4	55	35	38	38	27	23	216	43	35	20	21	21	37	177	393	33
介護度5	8	10	8	4	10	18	58	23	21	28	20	8	7	107	165	14
要介護延利用人員	807	882	836	904	901	858	5188	947	931	942	918	926	1039	5,703	10,891	908
要介護一日平均	32.3	32.7	32.2	34.8	34.7	33.0	33.2	36.4	35.8	39.2	38.2	38.5	39.9	38.0		34.0
延利用人員数	995	1,082	1,033	1,120	1,130	1,065	6,425	1,188	1,133	1,126	1,072	1,061	1,196	6,776	13,201	1,100
一日平均	39.8	40.1	39.7	43.1	43.5	42.6	41.1	45.6	43.5	46.9	44.6	44.2	46.0	45.1		42.3
令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	27	25	27	27	25	157	26	26	25	24	25	26	152	309	26
要支援1	8	10	8	9	11	8	54	8	9	8	8	4	0	37	91	8
要支援2	26	30	41	45	38	39	219	44	34	26	39	44	62	249	468	39
要支援延利用人員	34	40	49	54	49	47	273	52	43	34	47	48	62	286	559	47
要支援一日平均	1.3	1.5	2.0	2.0	1.8	1.9	1.7	2.0	1.7	1.4	2.0	1.9	2.4	1.9	1.8	1.8
介護度1	294	290	271	276	274	242	1647	260	248	242	252	257	244	1503	3150	263
介護度2	241	246	251	290	266	257	1551	248	225	216	195	194	208	1286	2837	236
介護度3	93	120	115	116	109	113	666	93	104	118	89	114	142	660	1326	111
介護度4	37	40	14	11	19	10	131	9	10	17	18	19	20	93	224	19
介護度5	7			9	7	7	30	10	8	11	20	13	13	75	105	9
要介護延利用人員	672	696	651	702	675	629	4025	620	595	604	574	597	627	3617	7642	636.8
要介護一日平均	25.8	25.8	26.0	26.0	25.0	25.2	25.6	23.8	22.9	24.2	23.9	23.9	24.1	23.8		24.7
延利用人員数	706	736	700	756	724	676	4,298	672	638	638	621	645	689	3,903	8,201	1,640
一日平均	27.2	27.3	28.0	28.0	26.8	27.0	27.4	25.8	24.5	25.5	25.9	25.8	26.5	25.7		26.5

第二デイサービスセンター虹の家 利用状況報告（令和元年度）

平成 30 年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日						25	25	26	26	24	24	24	26	150	175	15
要支援1						23	23	29	18	24	25	18	21	135	158	13
要支援2						159	159	178	152	133	106	92	94	755	914	76
要支援延利用人員						182	182	207	170	157	131	110	115	890	1072	89
要支援一日平均						7.3	7.3	8.0	6.5	6.5	5.5	4.6	4.4	5.9	6.1	6.1
介護度1						127	127	128	105	130	151	158	180	852	979	82
介護度2						67	67	88	110	107	112	137	151	705	772	64
介護度3						56	56	67	57	57	33	43	56	313	369	31
介護度4						15	15	15	15	13	14	14	15	86	101	8
介護度5						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護延利用人員						265	265	298	287	307	310	352	402	1956	2221	185.1
要介護一日平均						10.6	10.6	11.5	11.0	12.8	12.9	14.7	15.5	13.0		12.6
延利用人員数						447	447	505	457	464	441	462	517	2,846	3,293	659
一日平均						17.9	17.9	19.4	17.6	19.3	18.4	19.3	19.9	19.0		18.8
令和元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	27	25	27	27	25	157	26	26	25	24	25	26	152	309	26
要支援1	16	18	15	15	17	12	93	23	17	12	11	8	6	77	170	14
要支援2	92	87	75	89	85	81	509	79	64	63	57	60	57	380	889	74
要支援延利用人員	108	105	90	104	102	93	602	102	81	75	68	68	63	457	1059	88
要支援一日平均	4.2	3.9	3.6	3.9	3.8	3.7	3.8	3.9	3.1	3.0	2.8	2.7	2.4	3.0	3.4	3.4
介護度1	174	198	144	159	151	160	986	179	211	203	183	173	165	1114	2100	175
介護度2	146	156	159	166	171	160	958	125	132	125	148	204	260	994	1952	163
介護度3	32	64	63	74	50	35	318	36	28	25	26	28	22	165	483	40
介護度4	15	15	27	28	55	50	190	38	39	32	35	37	39	220	410	34
介護度5	0	0	0	0	0	0	0	14	15	14	13	15	16	87	87	7
要介護延利用人員	367	433	393	427	427	405	2452	392	425	399	405	457	502	2580	5032	419.3
要介護一日平均	14.1	16.0	15.7	15.8	15.8	16.2	15.6	15.1	16.3	16.0	16.9	18.3	19.3	17.0		16.3
延利用人員数	475	538	483	531	529	498	3,054	494	506	474	473	525	565	3,037	6,091	1,218
一日平均	18.3	19.9	19.3	19.7	19.6	19.9	19.5	19.0	19.5	19.0	19.7	21.0	21.7	20.0		19.7

### (3) 居宅介護支援事業所

#### <目標>

利用者の小さな変化にいち早く気づき、利用者や家族の困りごとに迅速に対応できるよう各事業所と連携を図る。

#### <結果>

- ・ ご利用者の希望、心身の状況、生活環境、ご家族の支援状況等を把握するように努め、ご利用者一人ひとりが望む生活を実現できるように支援を行うことができた。
- ・ ご利用者、ご家族より相談を受けた際には迅速に対応を行うことで信頼関係を構築することができた。
- ・ ご利用者の入退や退院の時期にはなるべく病院にうかがうように努め、病院関係者と連携を行いご利用者、ご家族が安心して在宅生活を過ごせるように退院支援を行うことができた。
- ・ サービス計画書作成数（担当数）において介護給付は拡大したが、予防給付は減少した。

#### 主な活動内容

- ① サービス計画書の作成
- ② 自宅訪問による相談
- ③ サービス担当者会議の開催  
(介護保険証の更新時又はサービス内容の変更時)
- ④ モニタリング (評価)
- ⑤ 各居宅サービス事業所、行政機関、主治医 (医療機関) との連携
- ⑥ 各種申請の代行手続き
  - ・ 介護保険要介護申請代行
- ⑦ 自己研鑽 (事業所内研修毎週 1 回、外部研修)
- ⑧ 他法人共同事例検討会の開催 (4 回開催)
- ⑨ 書類の整備

令和元年度	給付管理票提出数	1,652 件	(介護給付)
		369 件	(予防給付)

平成 30 年度居宅介護支援事業所 要介護度別担当者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
要介護 1	39	37	43	40	38	38	43	42	45	48	51	51	510	33%
要介護 2	38	38	38	35	34	34	35	36	42	44	43	43	456	29%
要介護 3	34	37	29	37	39	35	35	36	33	35	31	29	416	27%
要介護 4	13	10	19	12	10	12	12	10	9	9	10	12	130	8%
要介護 5	4	3	2	2	5	6	5	5	6	5	6	4	54	3%
要介護累計	128	125	131	126	126	125	130	129	135	141	141	139	1566	
要支援 1	13	17	16	18	17	18	16	14	15	13	13	14	186	34%
要支援 2	32	29	25	29	34	33	33	32	32	30	28	26	367	66%
要支援累計	45	46	41	47	51	51	49	46	47	43	41	40	553	

令和元年度居宅介護支援事業所 要介護度別担当者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
要介護 1	50	54	51	48	49	49	52	48	46	48	47	44	586	35%
要介護 2	43	43	42	49	48	47	45	46	46	44	46	49	548	33%
要介護 3	31	30	29	26	25	26	22	23	25	25	24	25	311	19%
要介護 4	13	13	13	12	13	13	10	9	10	9	10	13	138	9%
要介護 5	4	5	6	9	8	6	6	5	5	5	5	5	69	4%
要介護累計	141	145	141	144	143	141	135	131	132	131	132	136	1652	
要支援 1	11	11	11	10	11	10	12	11	9	8	6	5	115	31%
要支援 2	23	22	23	20	21	20	20	20	20	20	20	18	247	67%
総合事業対象者	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	7	2%
要支援累計	34	33	34	30	32	33	33	32	30	29	27	24	369	

#### (4) ヘルパーステーションねむの丘

##### <目標>

住み慣れた地域で安心して、自分らしく生活が継続できるよう、自立支援と生活の質の向上を念頭にヘルパーが一体となって支援をする。

##### <結果>

- ヘルパー一人ひとりが利用者のニーズを把握し、チームで統一したケアが行われた。
- ご家族、事業所と連携を図り、サービス提供について情報共有することで継続した在宅支援が行えた。

平成30年度要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	3	4	4	3	5	5	5	5	5	7	5	6	57
要支援2	6	6	6	8	7	8	8	7	8	9	9	9	91
要介護1	9	10	8	8	7	7	8	9	9	7	7	6	95
要介護2	6	6	6	8	8	10	10	9	9	9	9	8	98
要介護3	4	7	7	7	7	6	6	6	6	7	6	8	77
要介護4	1	2	3	1	1	1	1	3	2	2	1	0	18
要介護5	2	2	2	3	3	2	1	1	2	2	2	2	24
総合計(人)	31	37	36	38	38	39	39	40	41	43	39	39	460

令和元年度要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	6	6	6	5	4	5	5	5	5	3	3	3	56
要支援2	4	4	4	4	5	5	5	5	3	2	2	2	45
要介護1	9	11	10	10	11	10	10	10	7	5	3	2	98
要介護2	9	7	9	8	8	8	6	7	4	4	3	3	76
要介護3	6	6	7	7	6	7	6	6	4	4	4	4	67
要介護4		1	1	2	2	2	2	2	1				13
要介護5	1	1	1	1	1								5
総合計(人)	35	36	38	37	37	37	34	35	24	18	15	14	360

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成30年度	78	100	89	110	64		15	456
令和元年度	56	45	98	76	67	13	5	360
比較増減	-22	-55	+9	-34	+3	+13	-10	-96

訪問介護事業所 型別年間サービス提供数

訪 問 介 護	30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
	件数	24名	23名	21名	20名	23名	21名	19名	25名	27名	27名	28名	25名	283名	
	回数	390	396	372	348	391	406	394	390	404	420	403	432	4,746	
	(身体型)	86	62	80	42	103	130	185	179	182	179	187	221	1,636	34%
	(身体生活)	75	85	87	85	84	91	48	46	60	76	77	72	886	18%
	(生活援助)	229	249	205	221	204	185	161	165	162	165	139	139	2,224	48%
	令和元年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
	件数	27名	29名	30名	33名	32名	30名	28名	28名	19名	16名	13名	11名	296名	
	回数	444	465	430	449	504	468	376	364	236	211	169	189	4,305	
	(身体型)	233	259	236	216	223	203	129	122	109	112	84	101	2,027	47%
(身体生活)	81	84	80	107	132	131	131	125	67	54	39	32	1,063	25%	
(生活援助)	130	122	114	126	149	134	116	117	60	45	46	56	1,215	28%	

## (渋川市北橋地域包括支援センター)

### 運営方針(事業目標)

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように、高齢者本人や家族、地域住民などから受けた相談を把握し、関係機関と連携して解決に努め、地域の高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点としての機能強化を目指します。

<結果>

#### (1) 総合支援事業

高齢者の各種相談に幅広く総合的に対応し、高齢者の困りごとに対して、必要なサービスや制度を紹介し、解決に導きくことができた。

#### (2) 権利擁護事業

高齢者の方が安心して生活できるように、その方が持つ様々な権利を守り、成年後見制度の活用、虐待被害の対応、防止、早期発見に努めることができた。

#### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

高齢者が暮らしやすい地域にするため、地域全体の医療、保健、介護分野の専門職や地域住民まで幅広いネットワークをつくり、そこで暮らす高齢者の課題解決や調整を行うことができた。

#### (4) 介護予防ケアマネジメント事業

要支援と認定された方や、支援や介護が必要となる可能性の高い人を対象に身体状況の悪化を防ぎ、自立した生活が継続できるように介護予防を目的とした支援を行うことができた。



令和元年度 北橘包括事業実施報告書

区分		当年度累計
開所日数		261日
基本情報作成数		8件
相談実績		3,018
相談方法	電話（延べ）	1,648
	来所（延べ）	509
	訪問（延べ）	650
	その他（延べ）	211
相談内容が主に認知症に係る 件数（延べ）	65歳以上	202
	65歳未満	3
実態把握（一人暮らし高齢者）		62
権利擁護に関する相談件数		191
相談方法	成年後見（延べ）	7
	措置の支援（延べ）	2
	地域福祉権利擁護（延べ）	27
	高齢者虐待（延べ）	151
	消費者被害（延べ）	4
ケアマネジメント支援（プランチェック含）		80
介護予防支援	委託	280
	包括	99
介護予防ケアマネジメント	委託	332
	包括	96
国保連請求数		807
国保連請求数（返戻・修正・過誤）		3
基本チェックリスト（総合事業）		3
管理者会議（全体会議）		13
社会福祉士定例会		11
保健師定例会		8
主任ケアマネ定例会		12
民生委員連絡会議		9
生活支援体制整備事業（協議体）		9
家族介護教室・介護予防教室（主催）		2
各地域サロン・高齢福祉課各教室		6
地域ケア会議（個別）・コア会議		9
困難事例勉強会		2
ケアカンファレンス		2
CM研修会		4
外部研修会		10
認知症施策（見守りあんしん・学びの講座）		5